



恵比寿にある「ちえの木の実」さんへ行ってきました



【概要】

店名には「木の実を手にとるように、子どもたちに本を手にとってもらいたい。」という願いが込められている。選書コンセプトは、“いま、売れている本”ではなく、子どもにとって“一生の友だち”になるような本。絵本や児童書を中心に、子育てや教育に関する本などが揃う。

【内装】

木の香りがして温かみを感じる落ち着いた雰囲気の内には、遊び心のあるポップで鮮やかな装飾品が置いてある。椅子や机は幼い子どもも使いやすい高さのものを使用している。また、表紙を見せている本の展示が多く、表紙から本を選ぶこともできる。



ちえの木の実さんの店内

【ちえの木の実さんの HP の QR コード】



【ちえの木の実さんの Instagram】



@CHIENOKINOMI

【取材内容】

店員の武本佳奈絵さんにお話を伺いました。

Q1. 児童書専門店を開いた理由

日能研という学習塾の代表が23年前に開いた。子どもから大人まで良質な本を手にとってもらうことをモットーとしている。ロングセラーの本を中心に置いている。

Q2. 利用者の年齢層

未就学児のいる家族が一番多いが、小学生やビジネスマン、孫のために本を探しに来るご年配の方も訪れる。

Q3. 内装のこだわり

木の温もりを感じられてリラックスできるような空間作りを心掛けている。

羊毛フェルトで作ったガーランドなどの手作りのものを置いてあり、温かみのある内装になっている。POPを置かずにお客さまひとりひとりに丁寧な接客を行うなど、人との繋がりを大切にしている。



羊毛フェルトや手作りのガーランドで飾られた店内

Q4. 木の实便について、利用している人

依頼者の好みを聞いてオーダーメイドで選書するサービス。

赤ちゃんから小学生のお子さんのいる家庭の利用が多いが、大人の利用者もいる。

Q5. 書店を始めてからの気づき

子育てをしているお母さんは、頼れる人が少なく、狭い世界で孤独に頑張っているように感じる。
また、子どもが好きな本を早く見つけたいという焦りもあるように感じる。
そのような方のお話を聞いて、地域の相談所のような存在にもなれるよう心がけている。

Q6. ホームページに掲載しているおすすめ本の選書基準

店員の方がとにかく大好きな本を月2回紹介している。
絵本や詩・児童書などジャンルが偏らないようにし、季節を意識しながら掲載している。

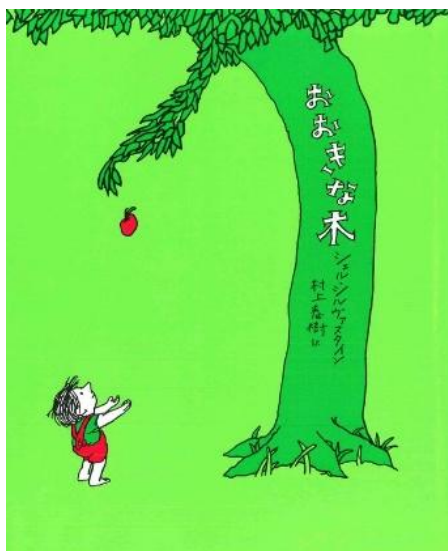
Q7. 店員さんの好きな本

・『だるまちゃん』シリーズ / かこさとし

絵本の下に紙を敷いて自分で描くことで、絵本の世界をさらに広げていた。

・『おおきな木』 / シェル・シルヴァスタイン

初めて自分で買った本。



実践女子大学図書館にも
所蔵があります！

Q8. おもちゃを取り扱う理由

知育おもちゃは置かず、手触りがよく自分であそび方を見つけながら自分の世界で物語を広げることができるおもちゃを置いている。

読む本と考えながらあそぶおもちゃとの親和性を大事にしている。

Q9. 昔話の変化について

絵本という形にして視覚化することで、子どもの教育によくないなど弊害がでてしまう可能性もあるので、昔話などは、耳で伝える方がよいのではないかと思う。

伝記などにも少女漫画のようにイメージが大幅に誇張されているものが増えているので、そのような本は書店に置くことはしていない。

Q10. 学生におすすめの本

『ハイジ』 / ヨハンナ・シュピリ

この本に限らず幼い頃に読んだ児童書を読み返すと、自身が築いてきた経験から当時とは異なる視点で読むことができる。

Q11. 大学生に向けてのメッセージ

とにかくあそんでほしい。やり直しがきくのだから、怖がらないで様々なことにチャレンジしてほしい。

【取材を終えて】

・今回取材を行い、武本さんの「小さい頃に読んだ本を読み返すことも必要」という言葉が心に残りました。小説などの難しい活字本ばかり読もうと思っていましたが、幼い頃に読んだ本を改めて読むことも新たな学びにつながるのではないかと感じました。私は今年度の前期に児童書についての授業を履修していたので、このタイミングで児童書の専門書店に足を運ぶことができたのは大変よい機会だったと思います。ご協力いただき、ありがとうございました。

(国文学科2年 K.H.)

・店員の方が好きな本をホームページで紹介しているというお話から、「ちえの木の实」さんのこだわりが伝わってきてとても興味深かったです。

また、伝記に書かれている偉人の特徴が分かりやすいものを取り扱っていることや、日本の昔話が優しく描かれていて本来伝えたいものが損なわれてしまっているものは店内に置いていないなどの共感できるお話もありました。お店の内装はとても素敵で、店員の方は話しやすい雰囲気の方でした。本屋取材を通して子どもの読書に関するお考えなど様々なお話を聞けて良い経験ができました。ご協力ありがとうございます。(国文学科2年 Y.S.)

・絵本に囲まれることは年齢があがるにつれて徐々に無くなっていたので、懐かしさと共に本の温かみを感じることができるととても素敵な書店だと思いました。POPをあまり置かずにお客様ひとりひとりにおすすめの本を紹介するなど、小さな書店ならではの工夫もとても魅力的に感じました。また、今回取材をした際に武本さんの「幼い頃読んだ絵本を読み返して欲しい」という言葉を聞いて、子どもの頃の自分と考え方がどう変わったのか、振り返って自分を見直してみようと思います。(美学美術史学科1年 T.A.)